

JR東海労ニュース

No.1094

2008年8月15日

JR東海労働組合

職場問題を解決しよう！シリーズ⑬

またまた、懲罰的「日勤教育」発生！

見せしめ・責任追及で安全は確保されない！

8月1日、新幹線小田原駅で、列車が約2m停止位置をオーバーしてしまう事故が発生しました。会社は、この事故に対して、当該運転士を乗務から外し、翌日から「日勤教育」を指定しました。しかし、「教育」とは名ばかりで、実際行われたのは「己の非」を認めさせるため、「時系列等報告書」「始末書」「振り返り」「対策」を文書で書かせることでした。「すべての責任は自分にあります」と「表明し反省しろ」と言わんばかりの対応です。そして、5日間の「日勤教育」最終日に、「見極め試験」と称して、5枚ものの『ペーパー試験』を行い、その結果が合格点に達していない事を理由に、運転士から車掌への担務変更を行いました。

しかし皆さん！『ペーパー試験』で合格点を取ることが問題なのではないでしょうか。永年運転士として乗務してきた社員に対して、「知識」が足りないから停止位置を行き過ぎたとも言いたいのでしょうか？停止位置オーバーの原因はハッキリしています。入線時にホーム上に乗客が倒れているのを発見し注意力がそちらに注がれたこと、そして、そのことにより、同じ目線にある他の表示灯に目が奪われてしまったことにあります。

ところが、事情聴取した管理者は、「いつもいい加減なことをしているのか」と決めつけ、間違いやすい表示灯が同じ目線にある設備上の問題点や、倒れていた乗客に注意力が傾注したことなどに関する対策については触れようとしませんでした。再発防止、再教育と言うのであれば「ブレーキ扱い」に自信が持てるように乗務をさせて訓練するべきではないのでしょうか？なぜ『ペーパー試験』なのでしょう？設備上の問題点は改善しないのでしょうか？

当該運転士は、今後『ペーパー試験』が繰り返され、合格しなければ「運転士」失格の烙印を押され他職へ職名が変更されます。これがJR東海の再教育の実態です。私たちは、このような懲罰的・見せしめ的な教育ならざる再教育＝「日勤教育」に反対します。

原因究明そっちのけ！
「試験、試験の試験責め」で
「再発防止」と言えるのか！